

## ジレンマカード「あなたならどうする？」

グループ活動 20分 全体活動 20分

## 【学習のねらい】

- ・人権に関する話題をもとにして、様々な判断や価値観のジレンマの存在に気づく。
- ・よりよい社会づくりのために、ジレンマのある状況に対してどう行動するかを考えることができる。

## 【準備するもの】

ジレンマカード（各グループに1セット）

## 【進め方】

- (1) アイスブレイキングをして4人くらいのグループに分かれる。
- (2) 各グループにジレンマカードを配る。
- (3) 各グループにジレンマカードを1枚選んでもらう。そのカードを読み、各自一番よい行動の仕方を1つ選択し、選んだ理由を考える。どのカードにも「それ以外」という選択肢があるので、それを選んだ場合は、具体的な行動の仕方を考えて示す。
- (4) 各自の考えを出し合い、最もよい行動の仕方をグループ協議によって1つ選ぶ。
- (5) 1番目のカードについて、話し合いの結果をグループの代表に発表してもらう。すべてのグループの発表が終わったら、2番目、3番目へ進む。
- (6) すべてのグループの発表が終わったところで、意見の相違について交換したり、感想を聞いたりする。特に、学習前と学習後の考え方に変化のあった人の感想を大切にす。

## 【留意点】

話し合いにあたっては、お互いの発表を理解しようとする態度で臨むことを確認する。

参考図書：「参加型で伝える12のものの見方・考え方」

ERIC国際理解教育センター



## ジレンマカード「あなたならどうする？」

**【場面1】** 車椅子の人が、交差点を渡ろうとしています。そこには段差があって、車椅子で渡るのは不可能かもしれません。そこに介助の人はいません。あなたならどうしますか。

- A 気づかないで通り過ぎる。
- B 気づいても、通り過ぎてしまう。
- C 交差点を渡ろうとしているので、そっと車椅子を押してやる。
- D 車椅子の人にどうしたいのか聞いてみってから、行動に移す。
- E それ以外

**【場面2】** 仕事帰りの満員電車の中で席に座っています。目の前に60~70歳代に見える人がつり革につかまりました。あなたはどうしますか。

- A 黙って立ち上がって席を譲る。
- B 気づかないで、そのまま座っている。
- C 「まだ60歳くらいだから、席を譲っても断られるかな」と思い、そのまま座り続ける。
- D 気づいてもそのまま座り続ける。
- E 「座りますか？」と聞いてみて、座りたいようならば、席を譲る。
- F それ以外

**【場面3】** 駅の階段のところに、目の不自由な人が立っています。階段の手すりをさわりながら、階段を登りたいように思えました。あなたはどうしますか。

- A 通り過ぎる。
- B 「お手伝いしましょう」と言って、手を引いて階段を上る。
- C 「何かお手伝いしましょうか」と聞いてから、介助が必要だったらお手伝いする。
- D それ以外

**【場面4】** 地下道の階段の手前で、大きな荷物をもって、ベビーカーを押し、二人の小さな子どもを連れのお母さんに会いました。階段を下りて地下道を通りたいようです。あなたはどうしますか。

- A たいへんそうだが、自分にも荷物があるし、忙しいので通り過ぎる。
- B 「荷物持ちますか」と言って、荷物を持って、階段を下る。
- C 「何かお手伝いすることはありますか？」と聞いてから、助けが必要だったらお手伝いする。
- D 「二人のお子さん、私がお連れしましょうか」と言って、二人の子どもを連れ、階段を下る。
- E それ以外